

いよいよ待ちに待った Oxbridge 研修の初日を迎えることができました。早朝まだ暗い中、生徒全員が集合時間の4時にそろったところで校長先生から生徒たちへ熱いエールを送っていただき、学校を出発しました。高速道路はとくに渋滞もなく途中三芳 SA でトイレ休憩をとりましたが、羽田空港には予定より30分程早い6時半に無事到着しました。今回利用する羽田空港は2020年の東京オリンピックにむけて急ピッチに国際化が進められており、また同時に日本の文化をPRする工夫も至る所にされており生徒には1時間ほど空港内を散策してもらい今の羽田空港を観てもらいました。

飛行機はほぼ定刻通り羽田空港を出発し目的地のロンドンヒースロー空港には予定通り午後13時過ぎに到着しました。約12時間の移動と時差から疲れが見えている生徒もいましたが、全員が元気にイギリスに足を踏み入れました。最初の関門である入国審査では審査官に行先や滞在期間など緊張しながらの質疑応答でしたが特に問題なく全員が無事通過することができました。

ロンドンヒースロー空港はヨーロッパを代表する大規模空港になります。空港内にはトラムという電車が走っており早速生徒もそのトラムに乗って出口のあるターミナルへと向かいました。空港では現地日本人スタッフが生徒達を出迎えてくださり用意されたバスに乗り込み研修地であるオックスフォードへ向かいました。

明日から生徒たちの研修拠点となるハートフォードカレッジ(=オックスフォード大学)の寮には16時半頃に到着、寮の前では大学の学生3名が生徒たちを出迎えてくれました。到着するとすぐにオリエンテーションが行われ寮の利用上の注意事項を聞き、カギがそれぞれに渡されました。ここからようやく生徒の表情は変わり研修の実感が徐々にわいてきている様子でした。オリエンテーション後は近くにあるTESCOというコンビニのようなお店に行き飲み物など簡単な買い物をしてもらいました。買い物から寮に戻るとすでに5時を過ぎており、その後の夕食まで部屋で休息をとる事もできましたが、生徒たちからは休むより何かを吸収する時間にしたいという要望があったため、学生たちに相談をして急きょ大学周辺のガイドツアーをしてもらいました。

オックスフォード大学は世界で3番目に古く、英語圏では世界最古の大学になります。また、ハーバード大学やケンブリッジ大学等と並び、各種の世界大学ランキングで常にトップレベルの優秀な大学として評価される世界有数の名門大学にもなります。ちなみに2016年、2017年THE世界大学ランキングでは世界1位の大学に2年連続で選ばれています。生徒たちには限られた時間ではありましたが大学周辺を観てその歴史と魅力を肌で感じてもらいました。

今晚はしっかり休んで明日からの研修に全力で挑んでもらいます。短いようであつという間に過ぎていくこの残り7日間は、たくさんの挑戦と失敗、そして小さな成功に彩られた研修となるよう全力でサポートして参ります。

本日の報告を終了いたします。

羽田空港



ロンドンヒースロー空港



ハートフォードカレッジ正門前



オリエンテーション



大学周辺の散策



夕食会場

